Letter of the M.Y. elementary school

ひ び き　南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい　かがやく子 ～

学校通信　NO.330
令和５年度　１月号
令和６年　１月９日

本好きみーなちゃん

このまちの　おすすめスポット

校長　鈴木　智彦

私は時間があると本を読みます。休みや日々の通勤時間などは私にとって貴重な読書時間です。本を読むことで、自分の中の価値観や考え方が揺さぶられ、物事の見方・考え方が広がる気がします。
以下の本は、最近読んだ中で、ぜひ他の方にもお勧めしたい本です。

『モノクロの夏に帰る』額賀澪
「自分に戦争を語る資格があるのかと考えた」
POP や帯でこう問いかけられたら怯みます。でも、無視できない気持ちになります。戦争だけでなく、差別や偏見も当てはまるかもしれません。
そんな事を考えさせてくれる本です。

『水車小屋のネネ』津村記久子
「自分が元から持っているものはたぶん何もなくて、そうやって出会った人が分けてくれたいい部分で自分はたぶん生きている」
この言葉がこの本のすべてを表しているように感じます。
様々な背景を抱えながらも、人がかかわる優しさにあふれた本です。

『月の立つ林で』青山美智子
新月のようにそこにあるけど見えないもの。悩みや不満を抱えた人々が、ふとしたかかわりから自分が見落としていた周りの気配りや温かさに気付き、前を向く過程で誰かの支えになっていく。
そんな、人にかかわる良さを考えさせてくれる本です。

『花屋さんが言うことには』山本幸久
働く意義や、人に必要とされたり認められたりすることの価値、そして、人との出会いやちょっとしたきっかけを前向きに捉えたくなる本です。

『この夏の星を見る』辻村深月
好きなことに打ち込む意義と、それを共有する仲間や時間の貴重さを考えさせてくれる、高学年から中学生に読んでほしい本です。

ここで紹介した本は、全て北山田地区センターの図書コーナーで借りることができます。毎月新着図書があり、話題の本もタイミングが合えば、市立図書館で借りるより早く読むことができます。児童書から一般書まで幅広く扱い、テーマを決めてお勧めの本を紹介したりもしています。私にとって、北山田地区センターの図書コーナーは大切な場所です。
お近くに行かれた折に、覗いてみてはいかがでしょうか。